

洋学文庫
文庫 8
C 246





夫水ノ其形ヲ變換スル。雪ヲ以テ最奇ナリトス。海
陸ノ氣。上騰シテ雲ヲナス。雲冷際ニ臻レハ。其温ヲ
失シ。變シテ雨トナル。氣中ニ在ルヲ以テ。一々皆圓
ナリ。初圓ハ至微至細。漸ヲ以テ併合シ。終ニ重體點
滴ノ質ヲ致ス。冬時氣升テ同雲ヲ成シ。冷ニ遭テ即
亦圓點ヲ成ス。冷侵ノ甚シキ。一々凝互シ。下零スル
モ其併合ヲ得ス。聊相依附シテ。大圓ヲ成サント欲
シ。六ヲ以テ一ヲ圍ミ。綏々翩翩。頓ニ天地ノ觀ヲ異

晴侯氏曰菴書

ニス。故ニ寒甚ケレハ。粒珠トナリ。寒淺ケレハ。花粉
 ナス。花粉ノ中。寒甚ケレハ。片愈美ナリ。凡ソ物。方
 體ハ必ハヲ以テ一ヲ圍ミ。圓體ハ六ヲ以テ一ヲ圍
 ムコト。定理中ノ定數。誣ヘカラス。雪花ノ六出ナル
 エヘンモ。亦コレノミ。立春後ノ雪。ミナ五出ノ水已
 ニ雪ニ變スレハ。重體忽チ二十四分ヲ減シ。輕飄毳
 ノ如ク。花形萬端。都テ六出。星辰ノ芒角ノ如ク。其狀
 整正。其質潔瑩。玉質ニ賞スルニ堪タリ。其精白ニシテ。



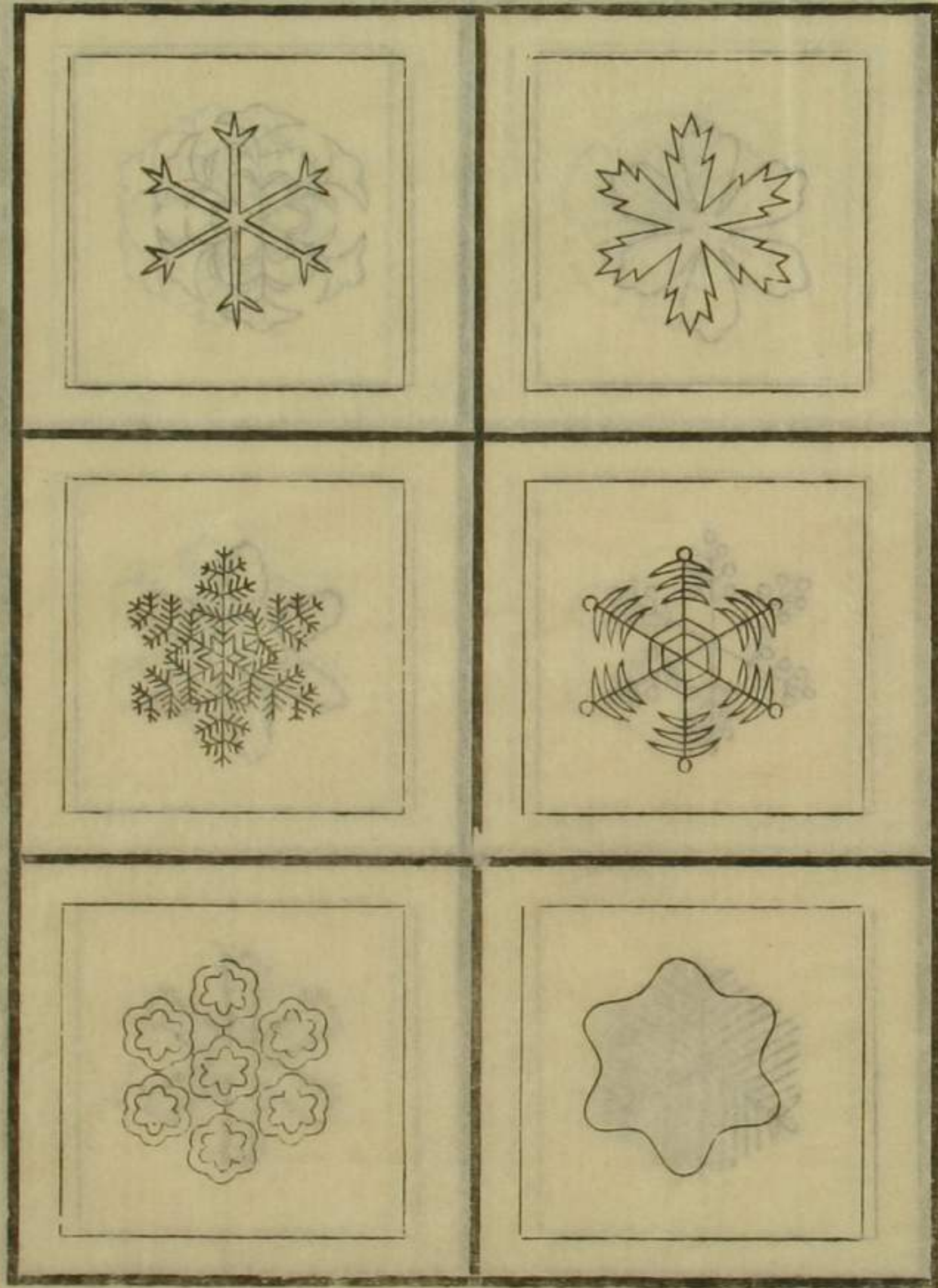
他色ヲ雜ヘサルハ。光線ノ盡ク反射ヲ致スニヨル。
 雪モシ黒色ナラハ。四望幽暗。豈堪フヘケンヤ。雪花
 ヲ驗視スルノ法。雪ナラントスルヲ天。預メ先。黒色
 ノハ。絲綴ヲ。氣中ニ晒シ。冷ナラシメ。雪片ノ降ルニ
 當テ之ヲ承ク。肉眼モ視ルハク。鏡ヲ把テ之ヲ照セ
 ハ。更ニ燦タリ。看ルノ際。氣息ヲ避ケ。手温ヲ防キ。織
 錡ヲ以テ之ヲ箱提スト。余文化年間ヨリ。雪下ノ時
 毎ニ黒色ノ鬆器ニ承テ。之ヲ審視シ。以テコノ畧ヲ
 作。雪其形質ヲ美ニスルノミナランヤ。功用マタ少
 カラス。大要十四アリ。第一。空ニ氣ヲ清フシ。汚濁ヲ驅
 ル。第二。已ニ氣ヲ清フスレハ。氣即チ涼爽粹純ヲ致

ス。第三積雪常ニ山巔ヲ寒カラシム。故ニ升騰ノ氣
凝集シテ水濕ヲ山澗ニ生シ。以テ江河ノ源ヲ養フ。
第四冬寒支體僵瘕ノ病。雪塊ヲ取テ患部ニ擦搽ス
レハ即愈ユ。又臘雪水甘クシテ大寒。天行時疫ヲ解
シ。一切ノ瘡毒ヲ療ス。ソノ他諸病ニ於テ必須ツ所
ニシテ。醫家欠クヘカラス。第五遍地ニ覆シテ寒
ノ土中ニ侵透スルヲ防拒ス。地中賴テ以テ寒冷ヲ
致サス。却テ温ヲ得。故ニ草水肥茂シ。蟄虫生ヲ得。又

雪上ニ橇ヲ走ラシ。犬鹿ヲ驅使シ。重ヲ引キ速ニ致
ス。故ニ北陸雪多モ害ナク利アリ。第六其質ノ輕キ。
毳ニ勝ル。故ニ冬時ノ蔬穀。衰脆ナルヲ損セス。却
テ之ヲ擁包シテ。寒ニ傷ラルヲ防ク。第七窖藏ノ
冰雪。夏月烏魚諸肉ノ敗餒ヲ防キ。水漿ヲ冷ヤシテ
收儲暑ヲ延クコトヲ得。イハユル。冰雪冬時コレヲ
藏シ。夏時コレヲ開キ。食肉ノ祿。喪祭賓客用ヒサル
コト無シ。コレ亦輔相調燮ノ一事。トコレナリ。第八

冬日地中ヨリ發スル蒸氣ヲ遏抑シ。冬天以テ暗晦
ヲ致サス。若冬日ノ地氣ヲシテ。恣ニ空ニ滿タシム
レハ。冬日更ニ昏暗ヲ致スヘキナリ。第九。雪中ニ諸
物ヲ生育スル。酸塩活機ノ氣ヲ包含ス。故ニ土地ノ
肥沃ヲ醸ス。第十。雪輝ヨク諸物ヲ照明ス。故ニ北邊
ニ於テ。冬日ノ暗室ヲ照シ。冬夜ニ明ヲ與フ。第十一。
積雪尺ニ盈レハ。遺蝗ヲ地下ニ驅ルコト一丈。其春
必霖霖ノ小雨アリテ。潤澤澆洽シ。以テ天下ノ豊年

ヲナス。第十二。學者雪ニヨリテ。理學ノ諸支ヲ悟リ。
詞人畫工ニ至ルマテ。詩賦ノ工ヲ添ヘ。山川ノ美景
ヲ畱セシム。第十三。雪ノ潔瑩比スヘキモノ無ク。能
ク汚濁ヲ洗濯シ。臭腐ヲ驅除ス。故ニ中華西洋。人ノ
廉潔物ノ清淨。必スコレヲ之ニ比ス。我邦由伎ノ
名モ。亦此義ナリ。第十四。諸山ノ雪。漸ヲ以テ融釋シ。
常時諸川ニ適宜ノ冷水ヲ送リ。曾テ乾涸ヲ致サス。
以上。人命ノ係ルトコロ最大。夏月ハ冷。冬月ハ温。熱ヲ

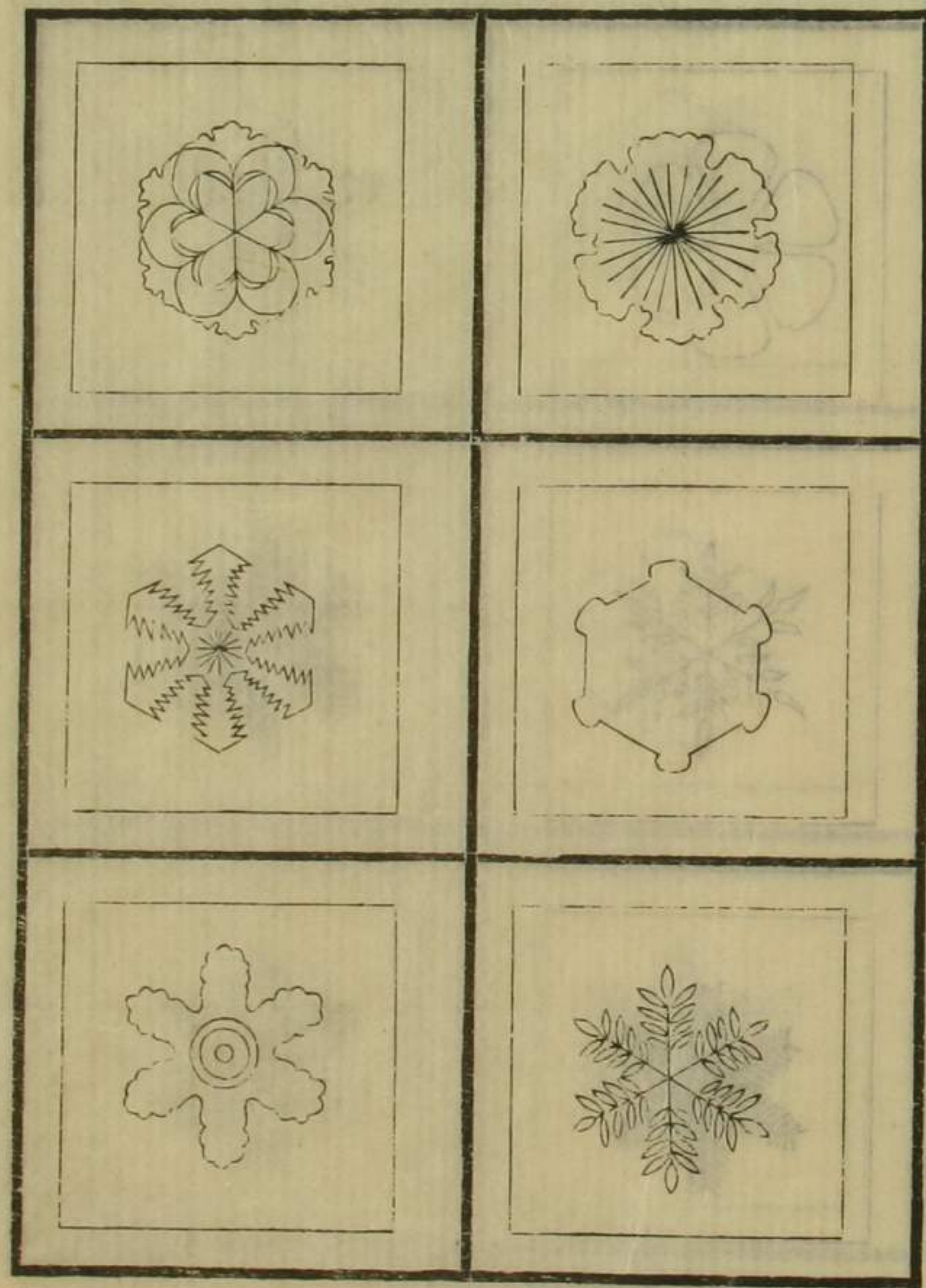


五

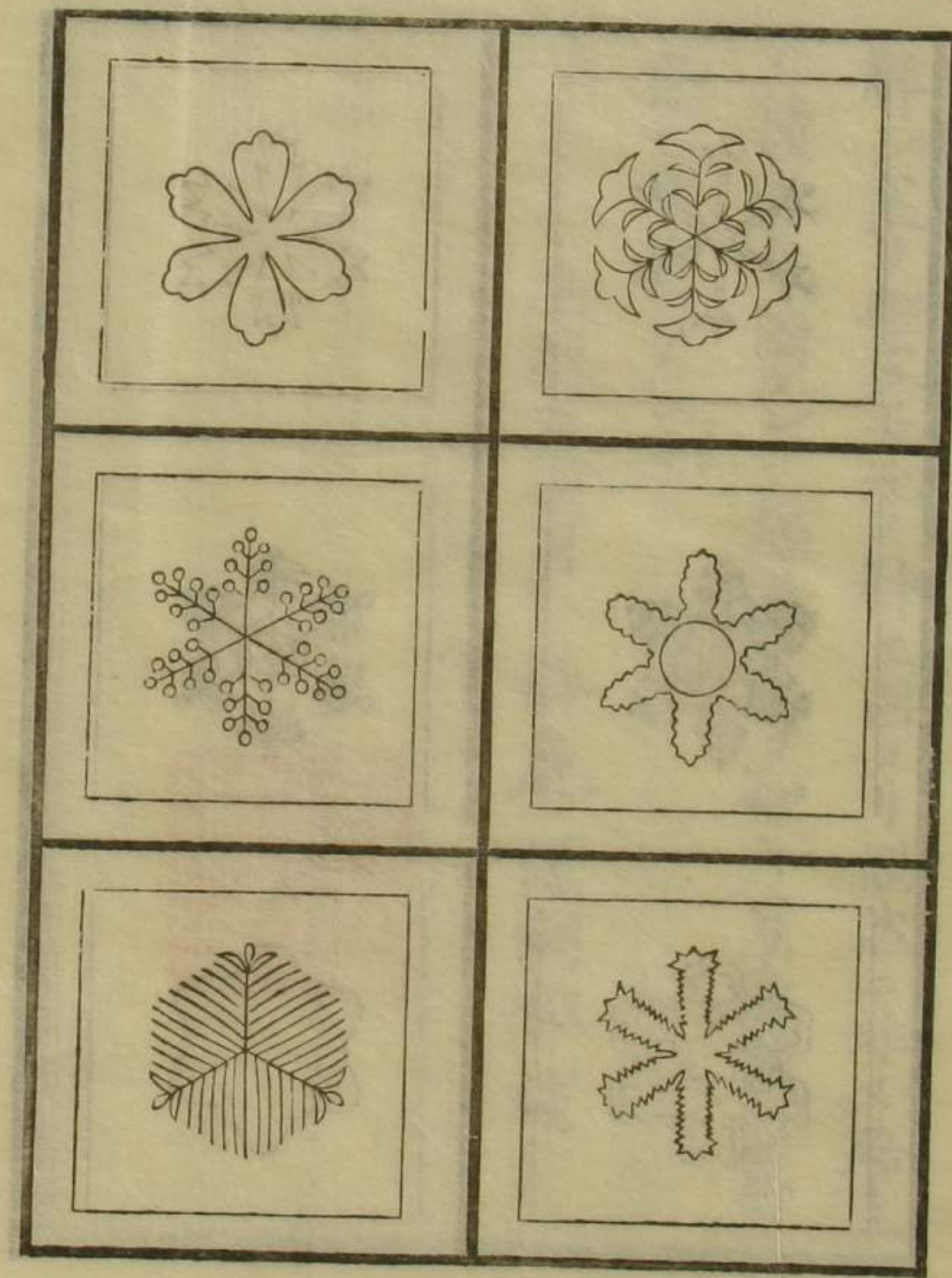
解シ。寒ヲ御ク。天地ノ神工。固ヨリ偶然ニ非ス。路上ノ積雪。我儕コレヲ踏過スルカ如キ。豈奉戴ノ意ヲ存セサルヘケンヤ。

壬辰夏六月 許鹿源利位述

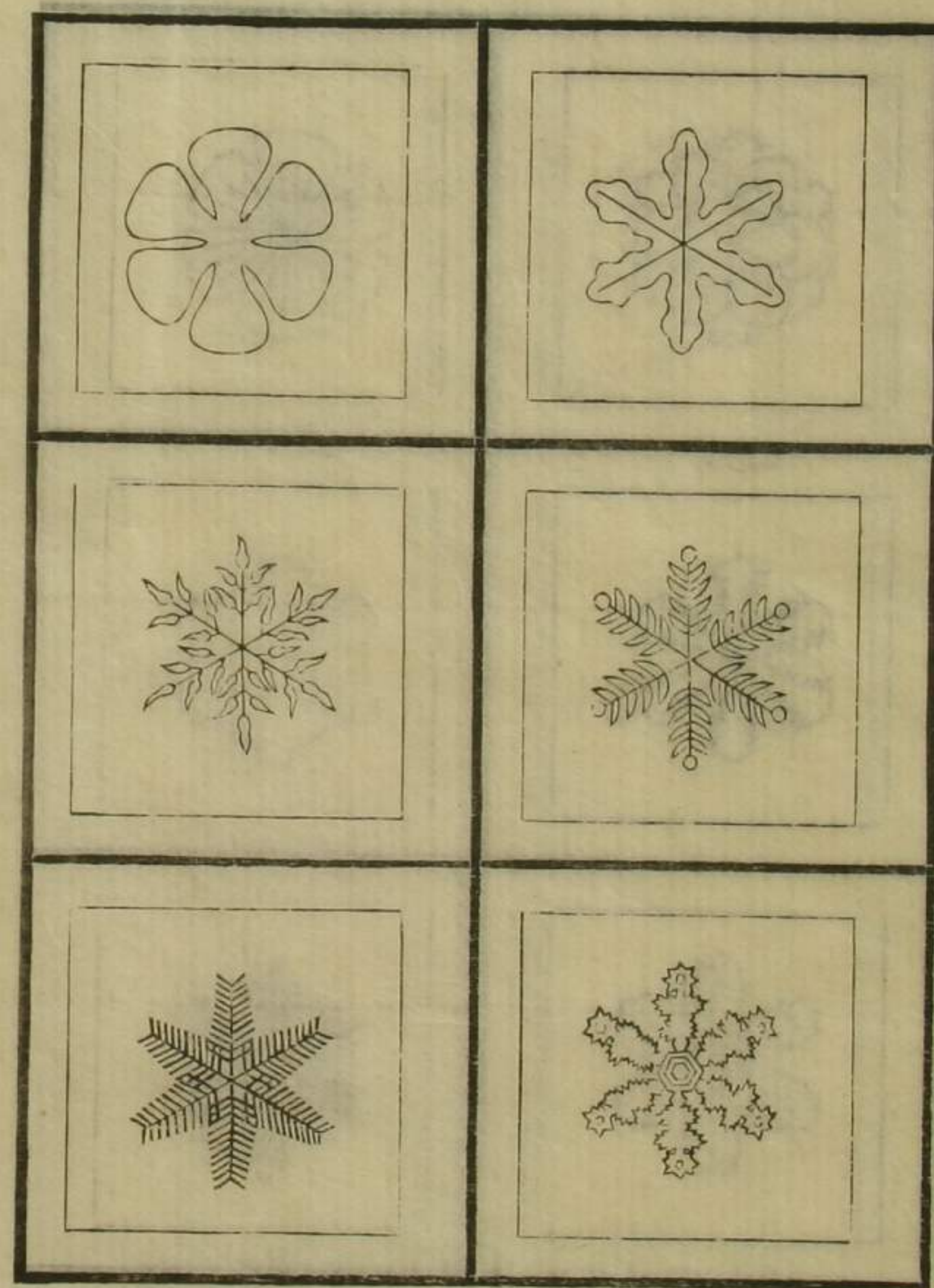
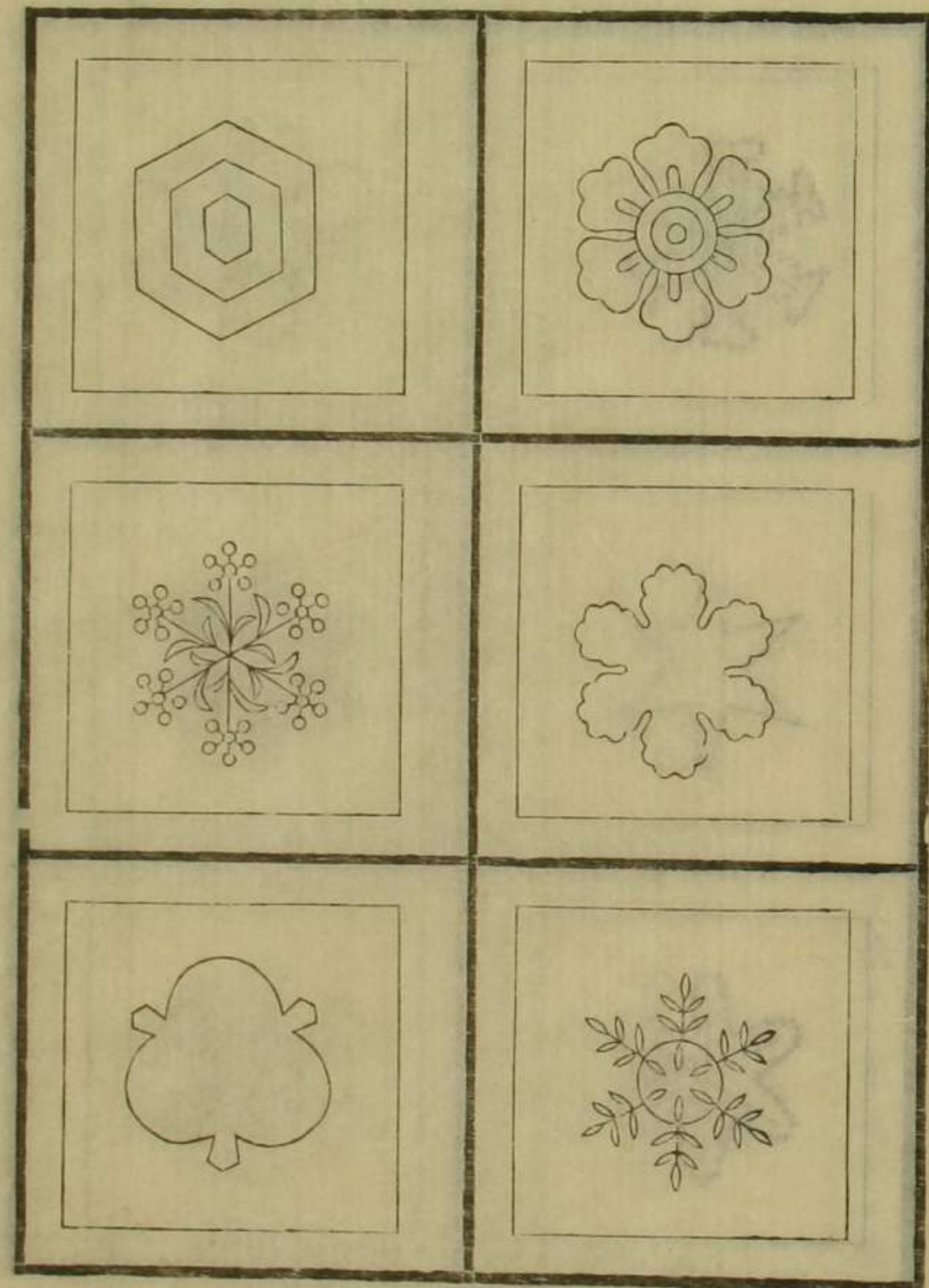


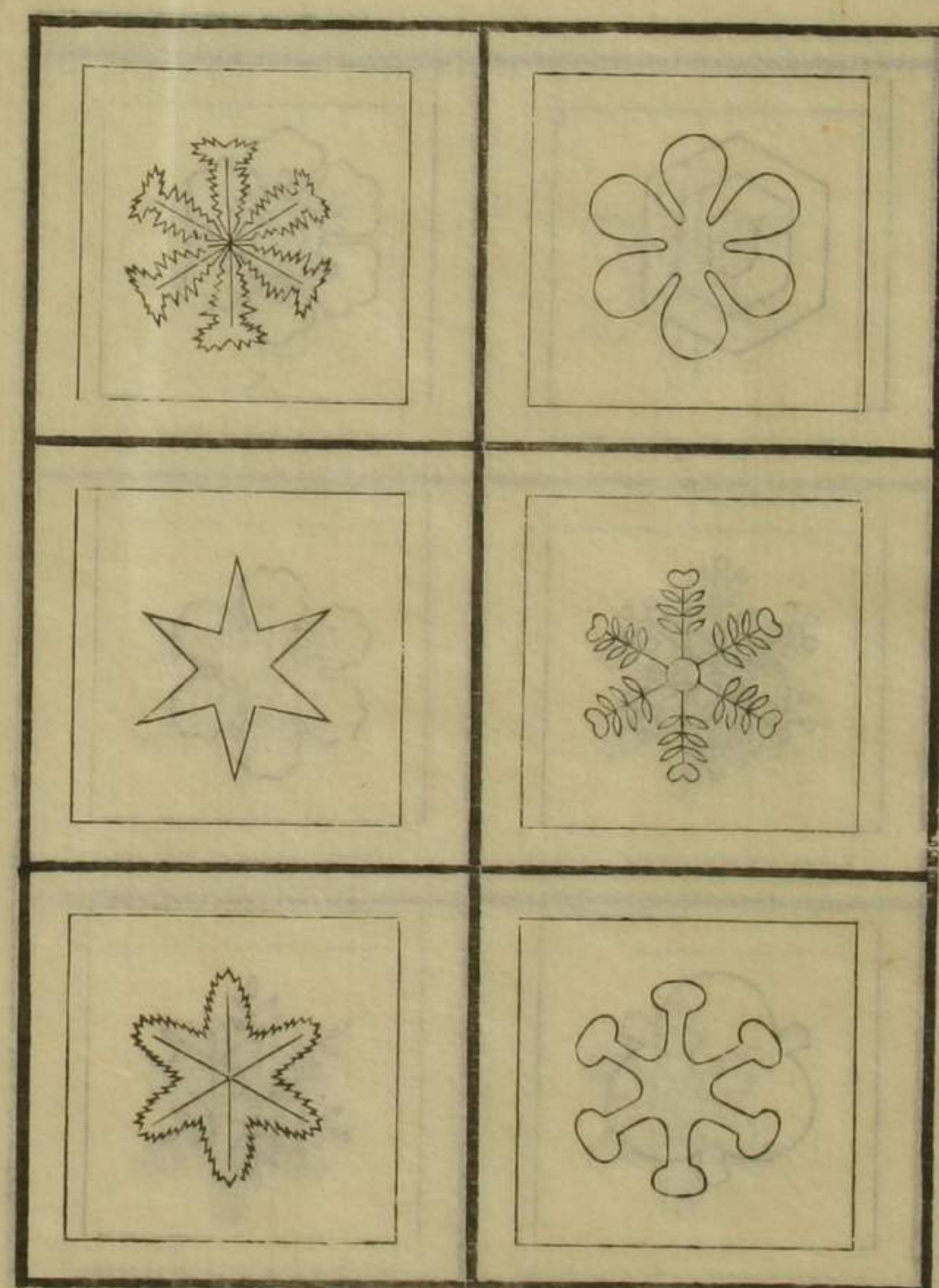
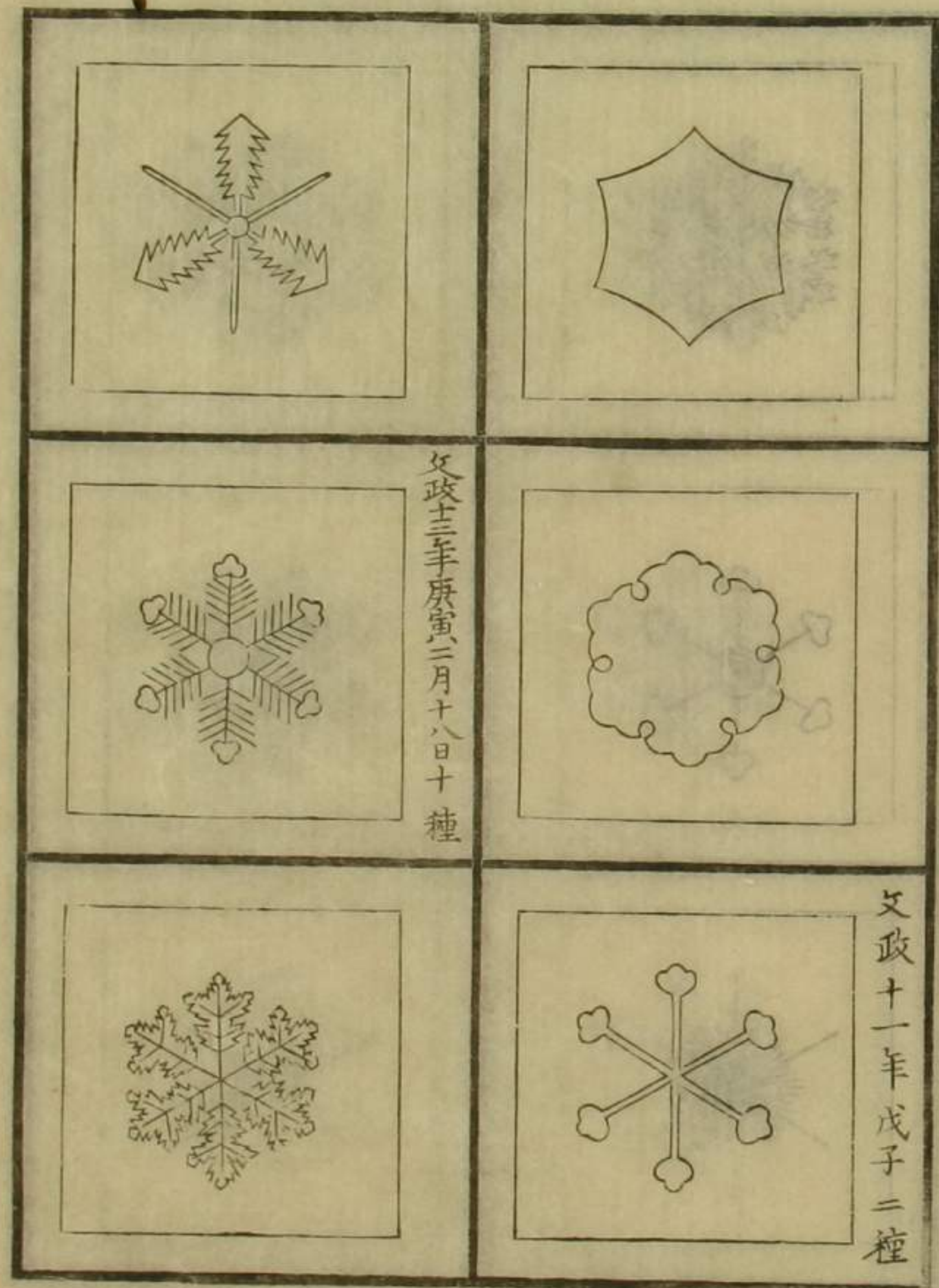


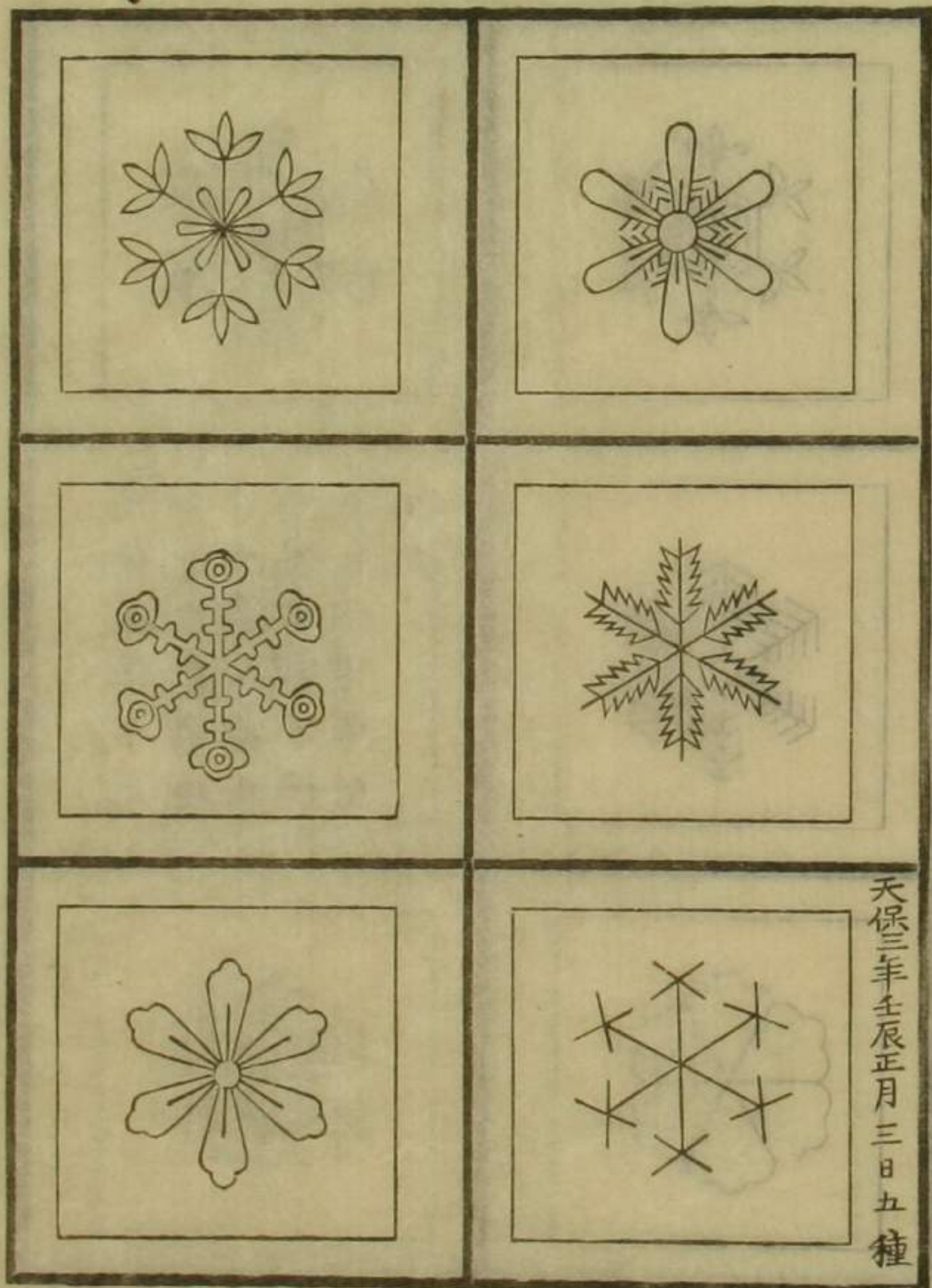
六



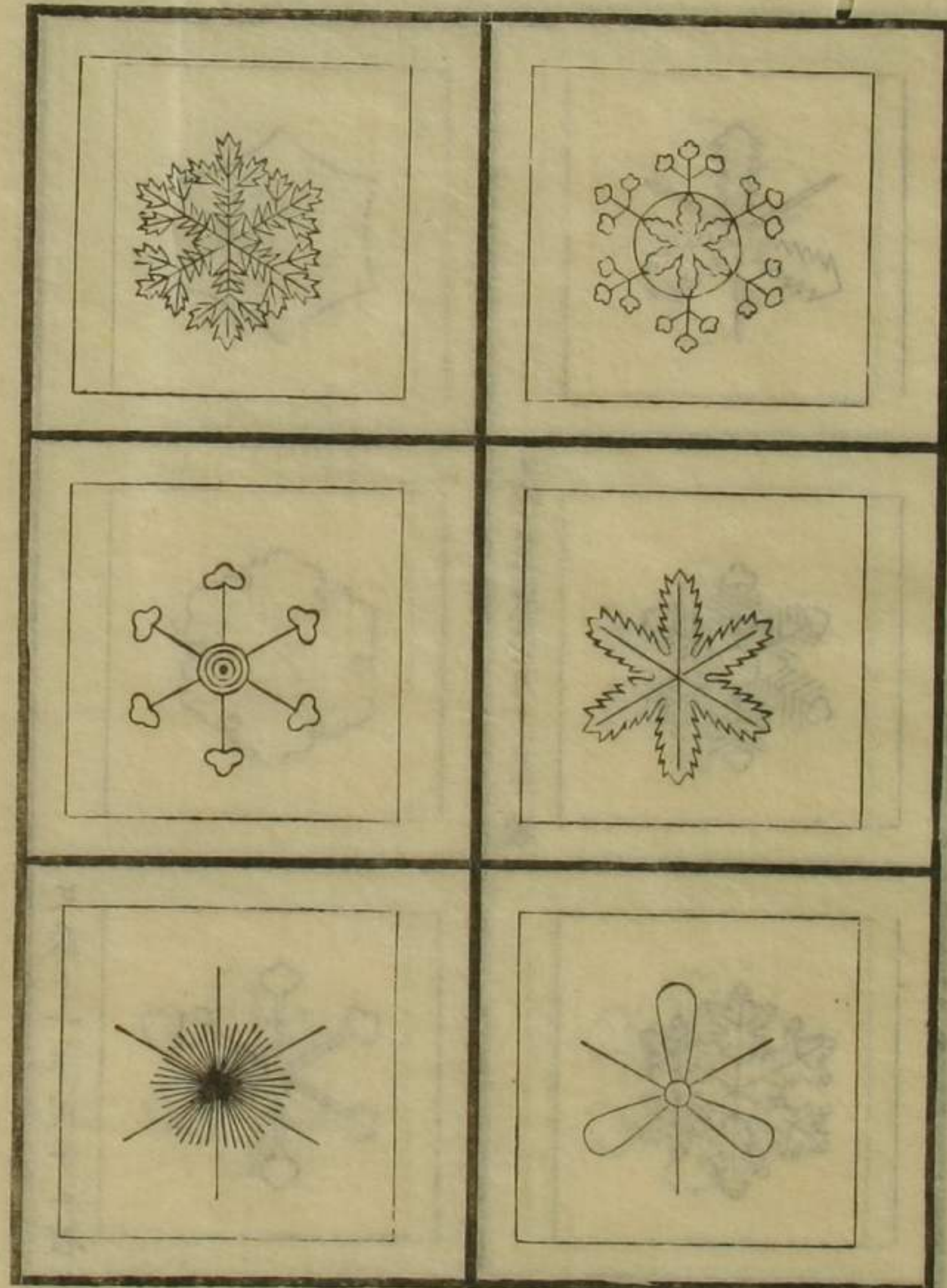
七

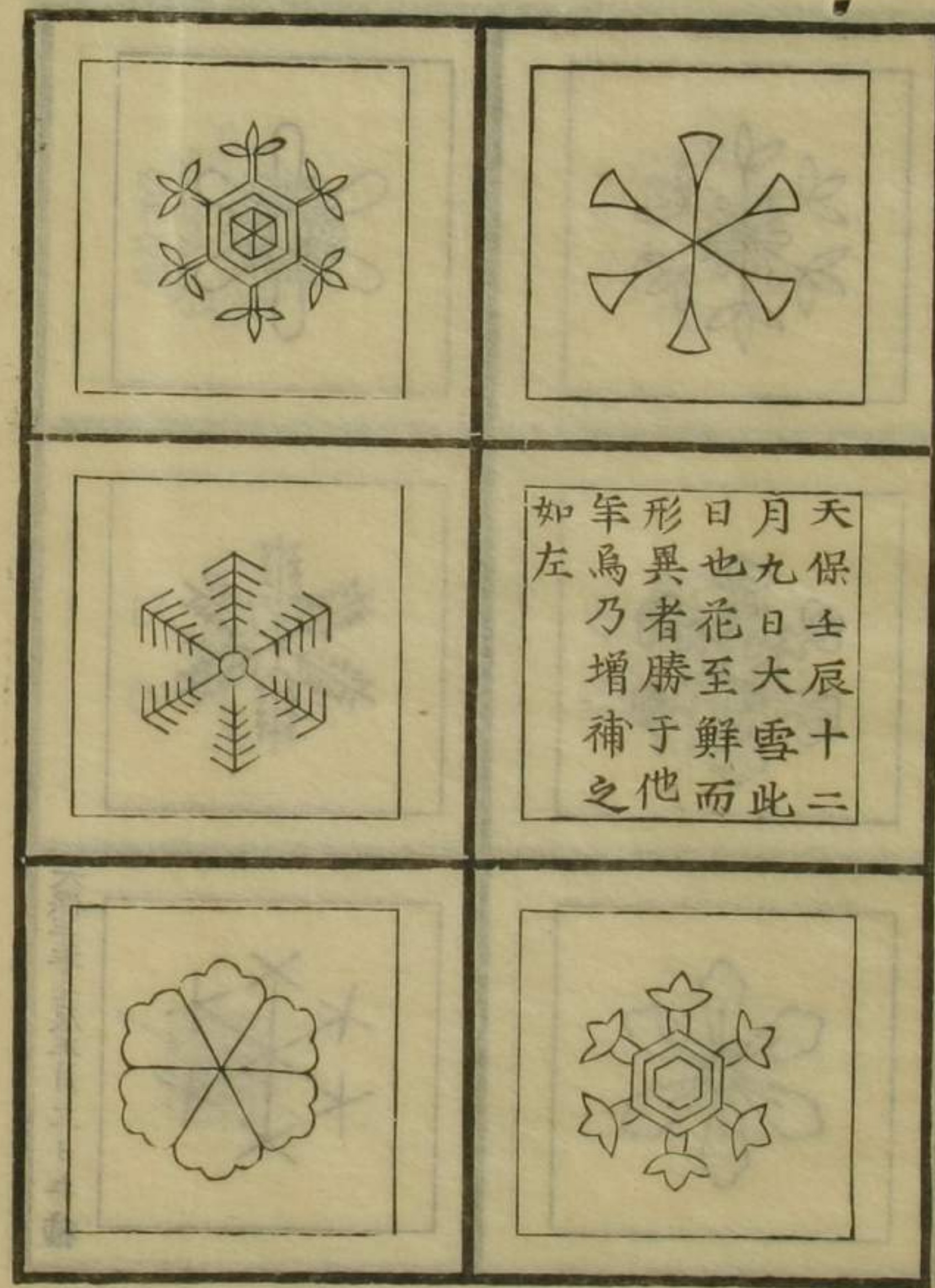
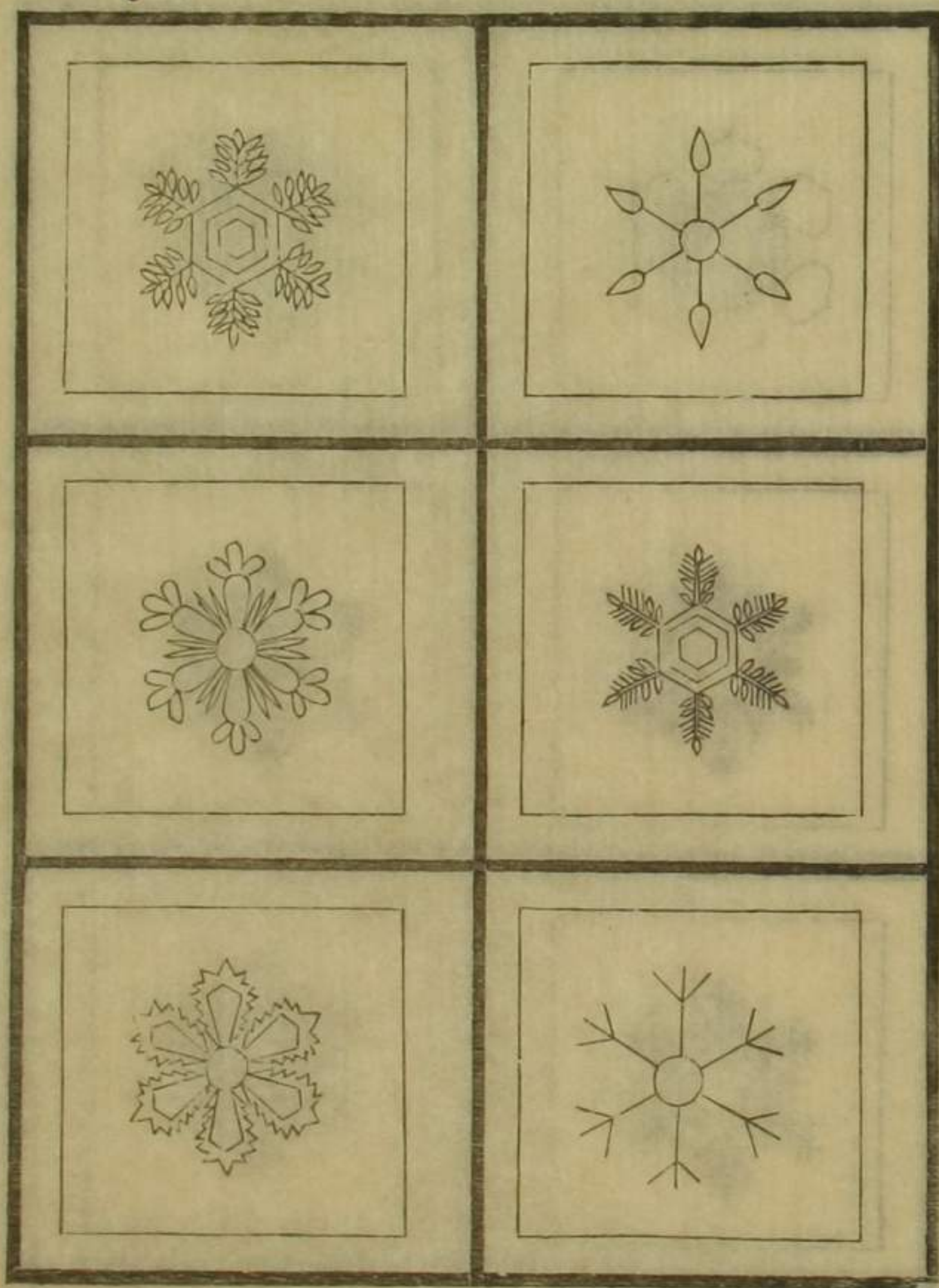




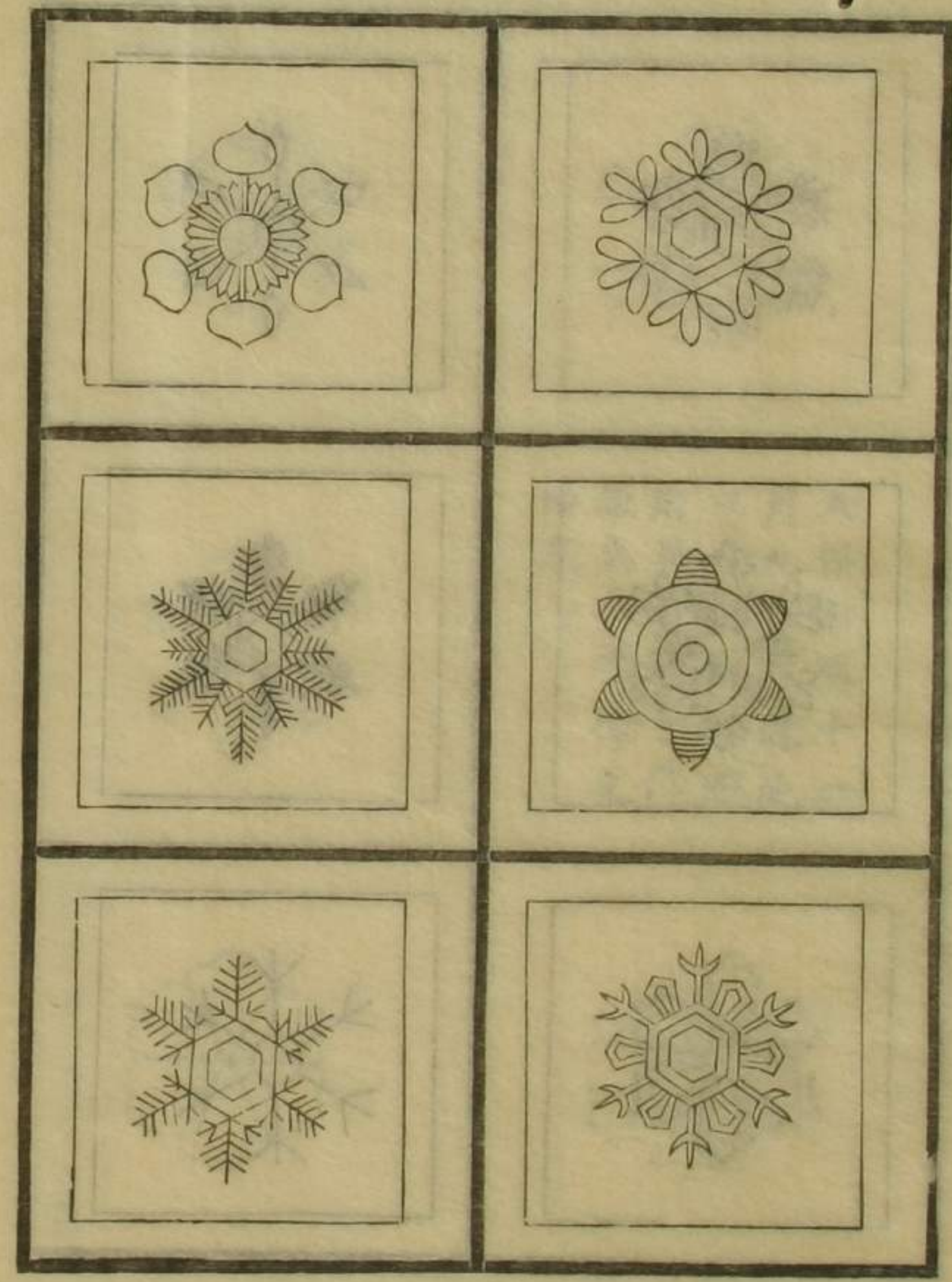
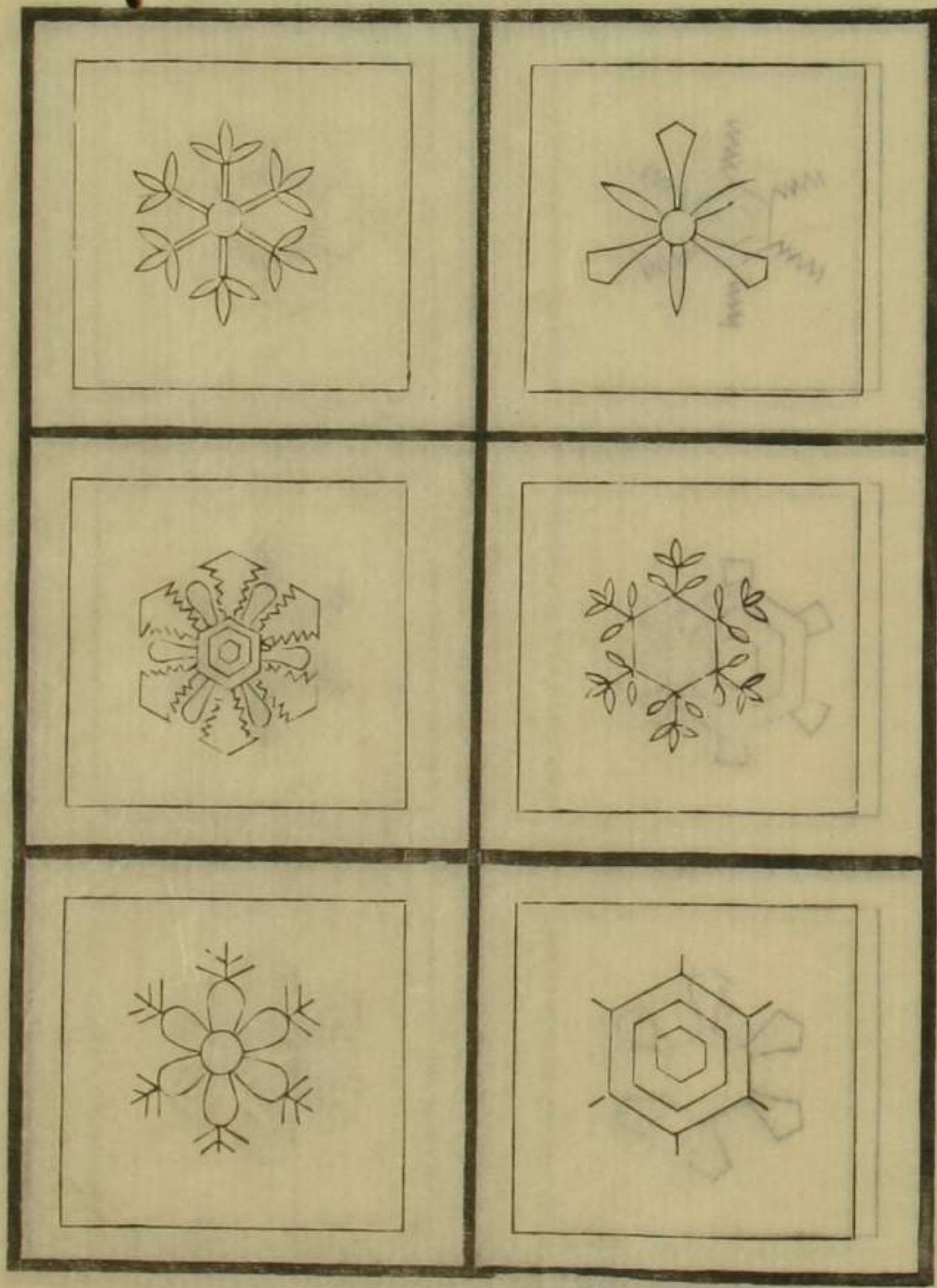


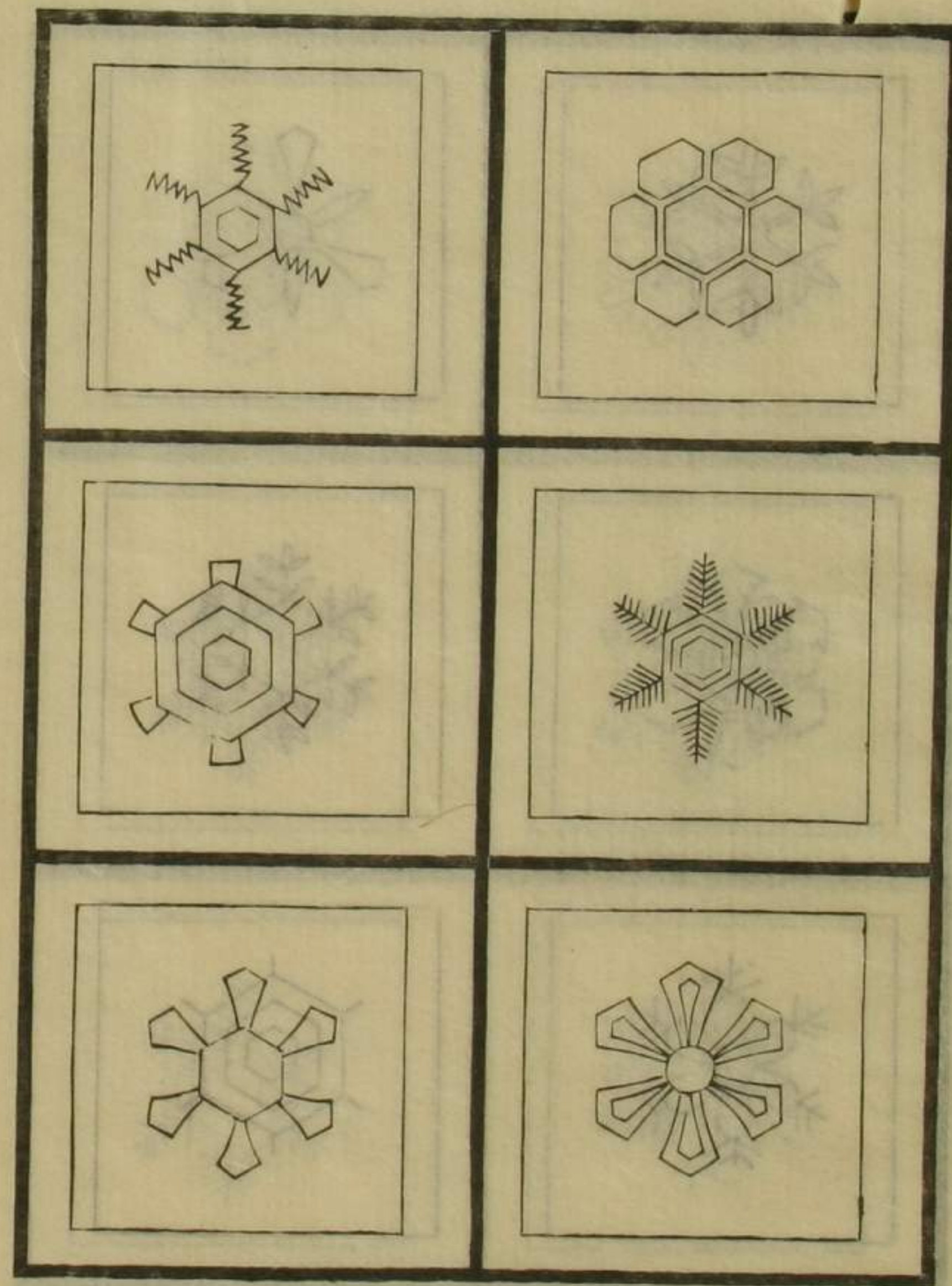
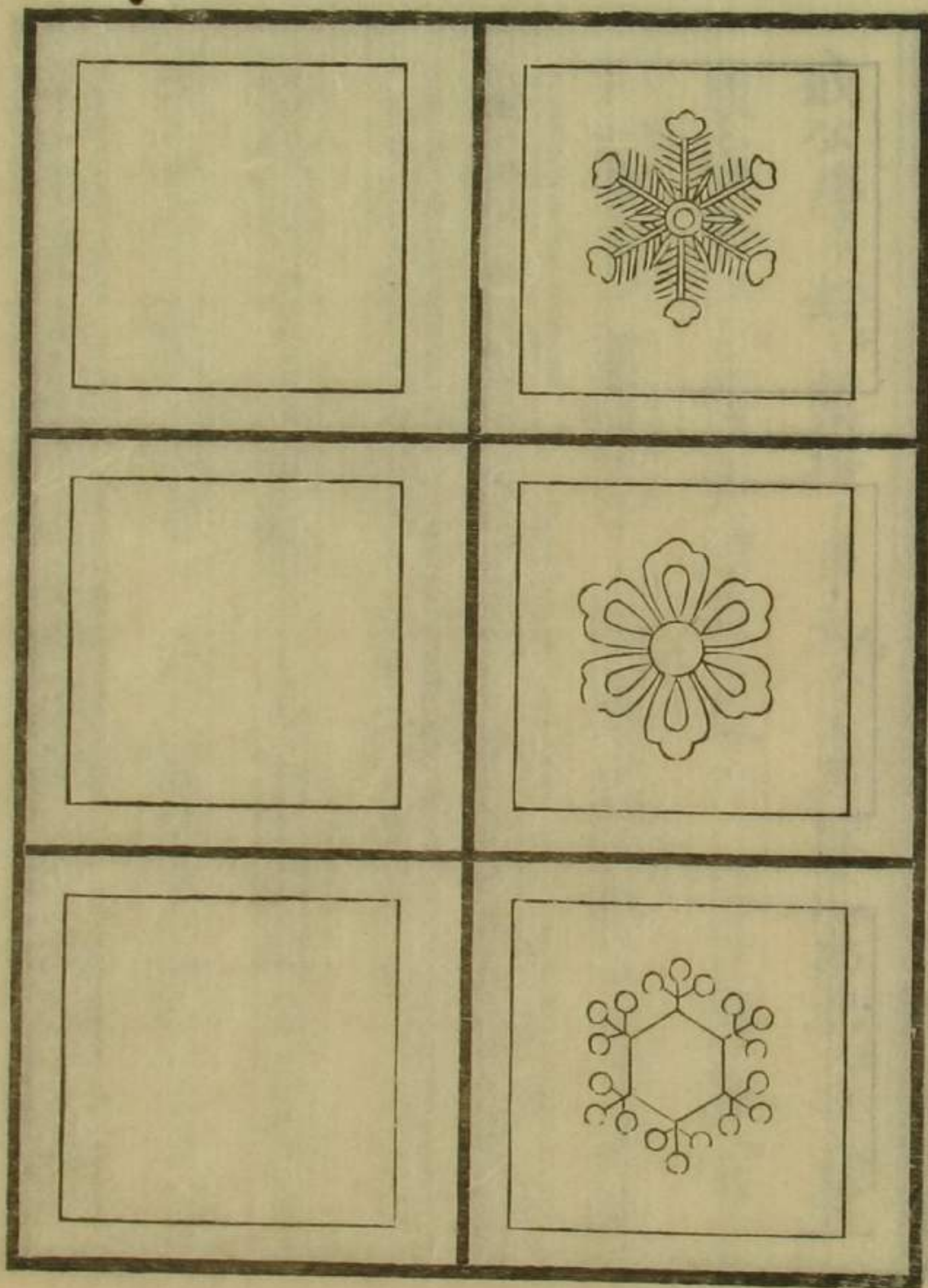
天保三年壬辰正月三日五種



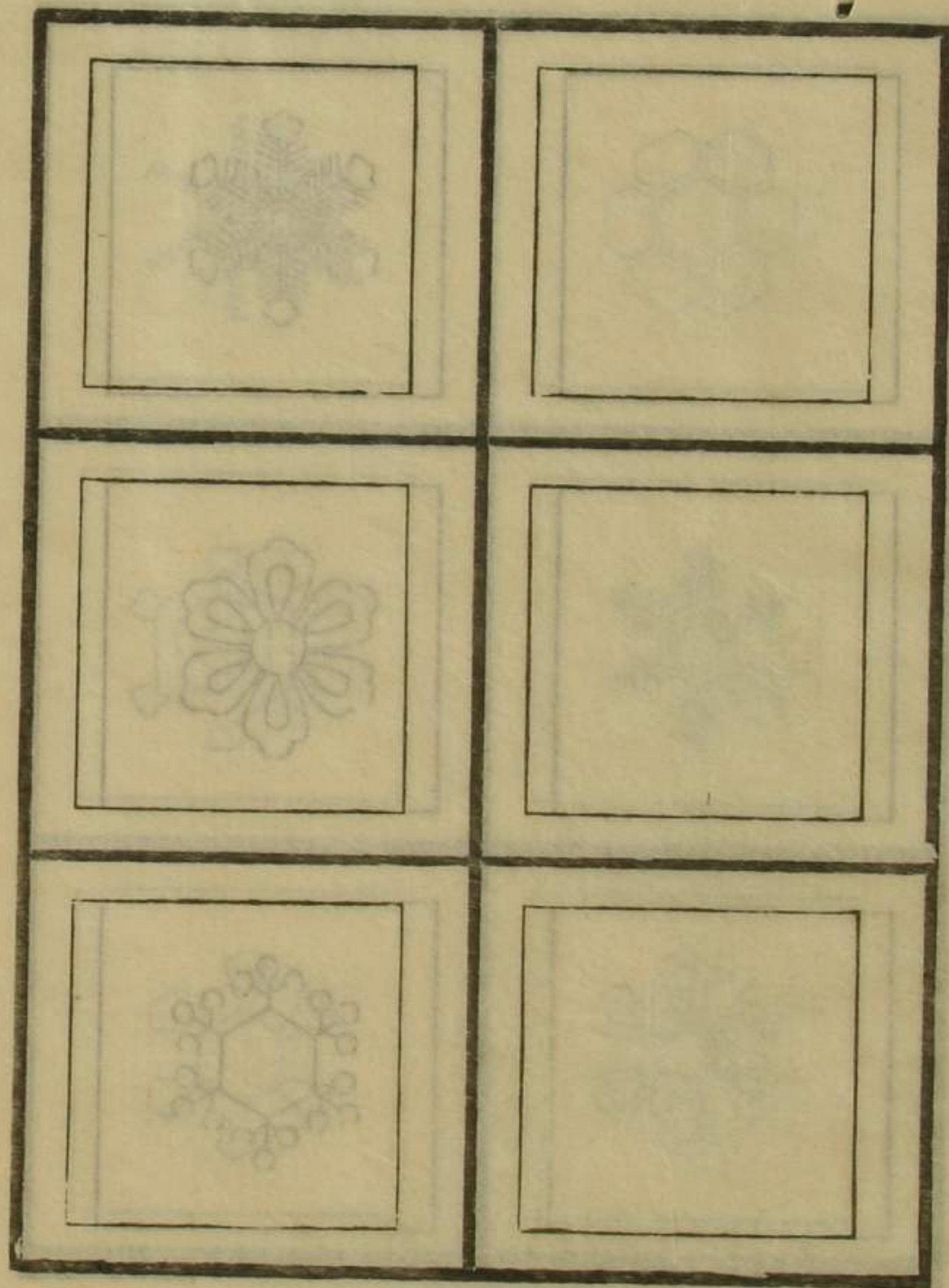


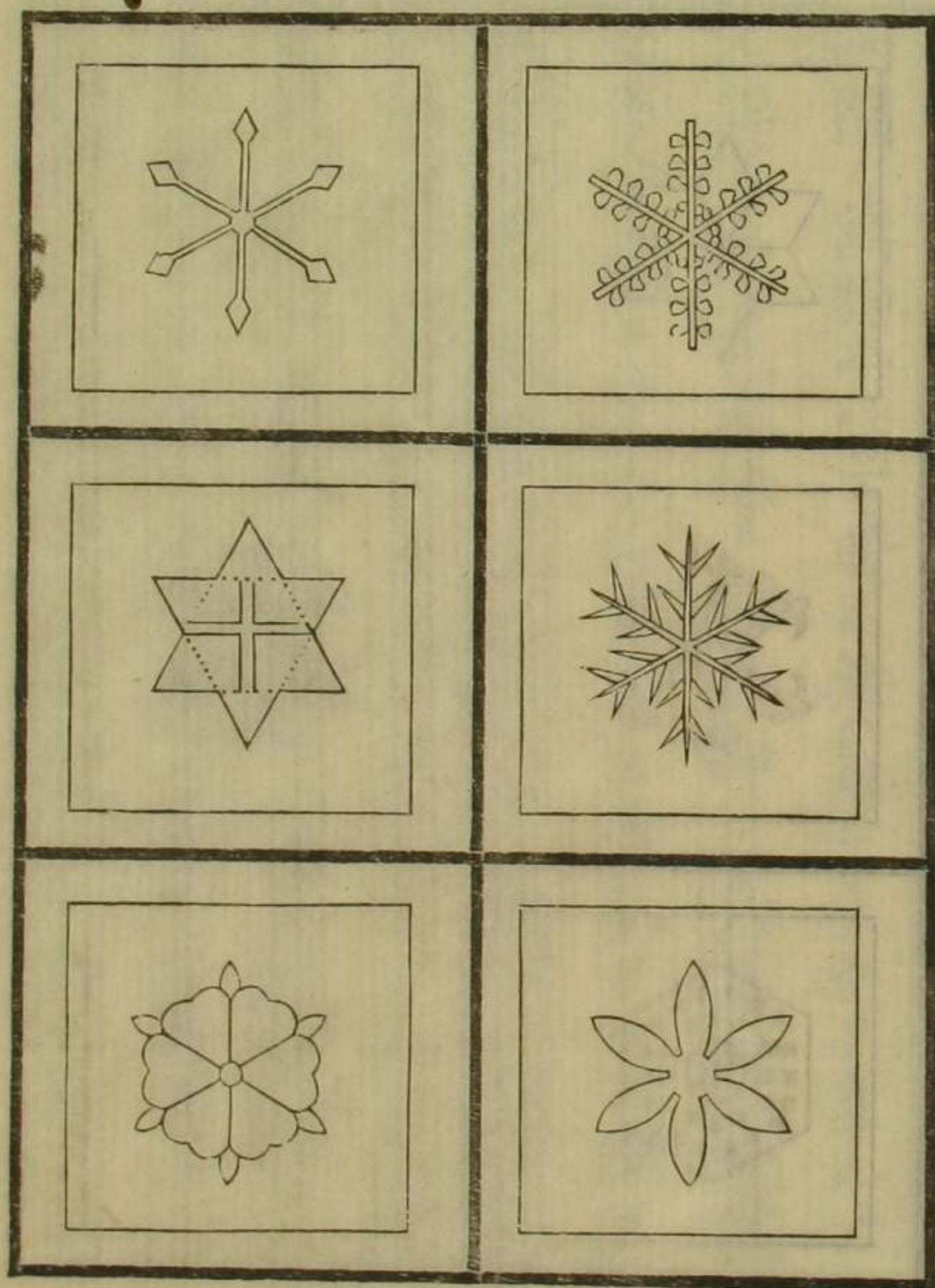
天保壬辰十二月
 月九日大雪此
 日也花至鮮而
 形異者勝于他
 年烏乃增補之
 如左





我公學ヲ好ミ萬般ノ事物必ス其理ヲ究窮格ス。臣忠常
 晨昏給仕シ辱ク其清誨ヲ奉ス。公事務ノ暇雪ノ
 下ル。毎ニ之ヲ審視スルコト。今春ニ至テ幾ト二十年。其
 畝ハ前ニ列スルモノ_ニ如シ。近日公ソノ畝說ヲ著シ之ヲ梓
 ニ上ス。謹テ按スルニ西洋人瑪兒低涅_ル多カ著ストコロノ
 格致問答ニイフ。檢視スルトコロ五百餘種。近ク見ルト
 コロ十二ヲ畝スト。其中公ノ畝ト全ク同キモノアリ。
 見ルヘシ。東西萬里ノ遠モ好尚既ニ同ク。物理マ_レ異ナ

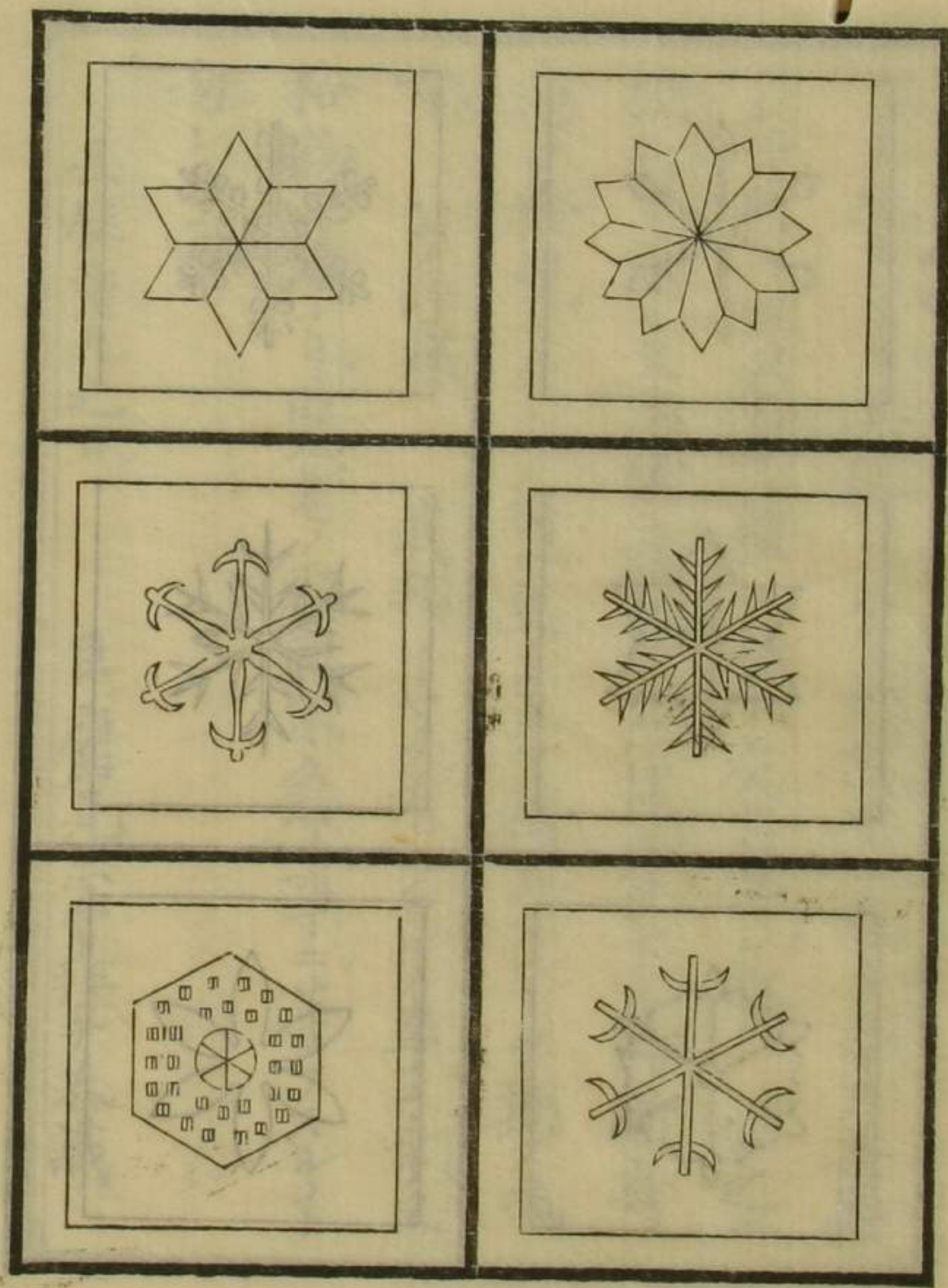




ルコト無キコトヲ。其説ハ 公ノ總説中ニ在リ。今只其圖
ヲ左ニ列ス。桂君翠藍 公ト交リ厚シ。故ニ 公之ニ
校訂ヲ請ヒ。且其後ニ跋セシム。尔後雪ノ下ル時。新奇
ノ形ヲ檢視スルコトヲ得。更ニコレヲ補足スルヲ期ス。嗚
呼。公ノ此舉。 我邦イマク有ラザルノ事ニシテ。又
格物ノ端ナリ。覽ルモノ。虚假不急ノ事ニ等フスルコト
勿レト云。

壬辰重九之日

臣 鷹見忠常 拜手 恭識



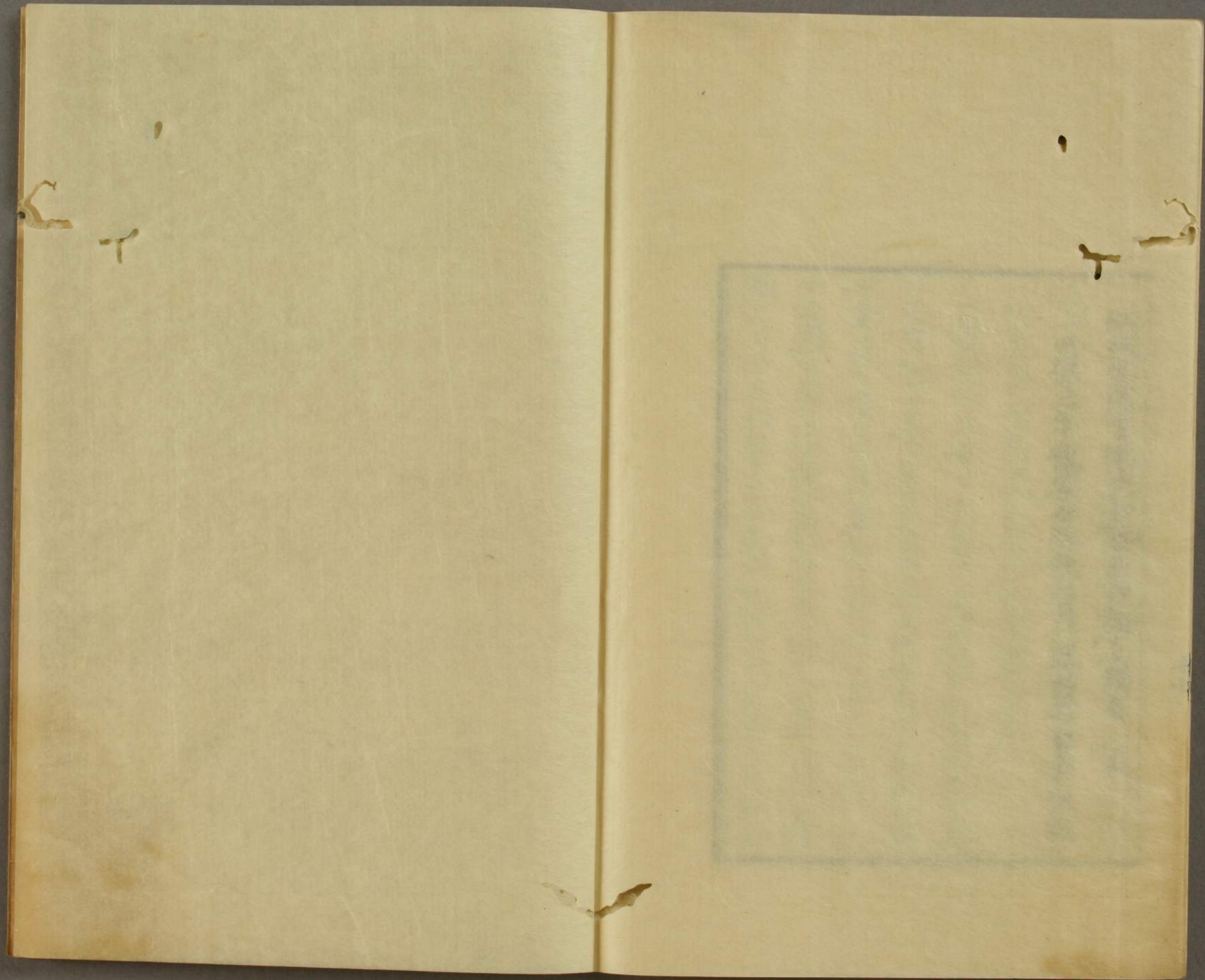
兩間ノ萬物。半箇モ所用無ハ無シ。ソノ之ヲ享ルノ
 人。但ソノ聲色香味ヲ嘲笑シ。却テ眞實ノ用ヲ知覺
 セス。人ノ物ニオケル。既ニソノ眞ヲ知テ。ソノ理ヲ
 究メ。マタソノ聲色ヲ愛スルトキハ。物ソノ寃ヲ免
 レ。人モ之ニ溺ル。ノ患無シ。風花雪月ノ如ハ。人命
 ノ係ルトコロ。最大ナリ。シカルニ。亦茫然省悟セス。
 盖人情。浮華ヲ喜ヒ。沈實ヲ疎ム。不才國寧。嘗テ中西
 ノ諸籍ヲ讀テ。粗雪花ノ說ヲ知リ。ソノ功ノ偉ナル

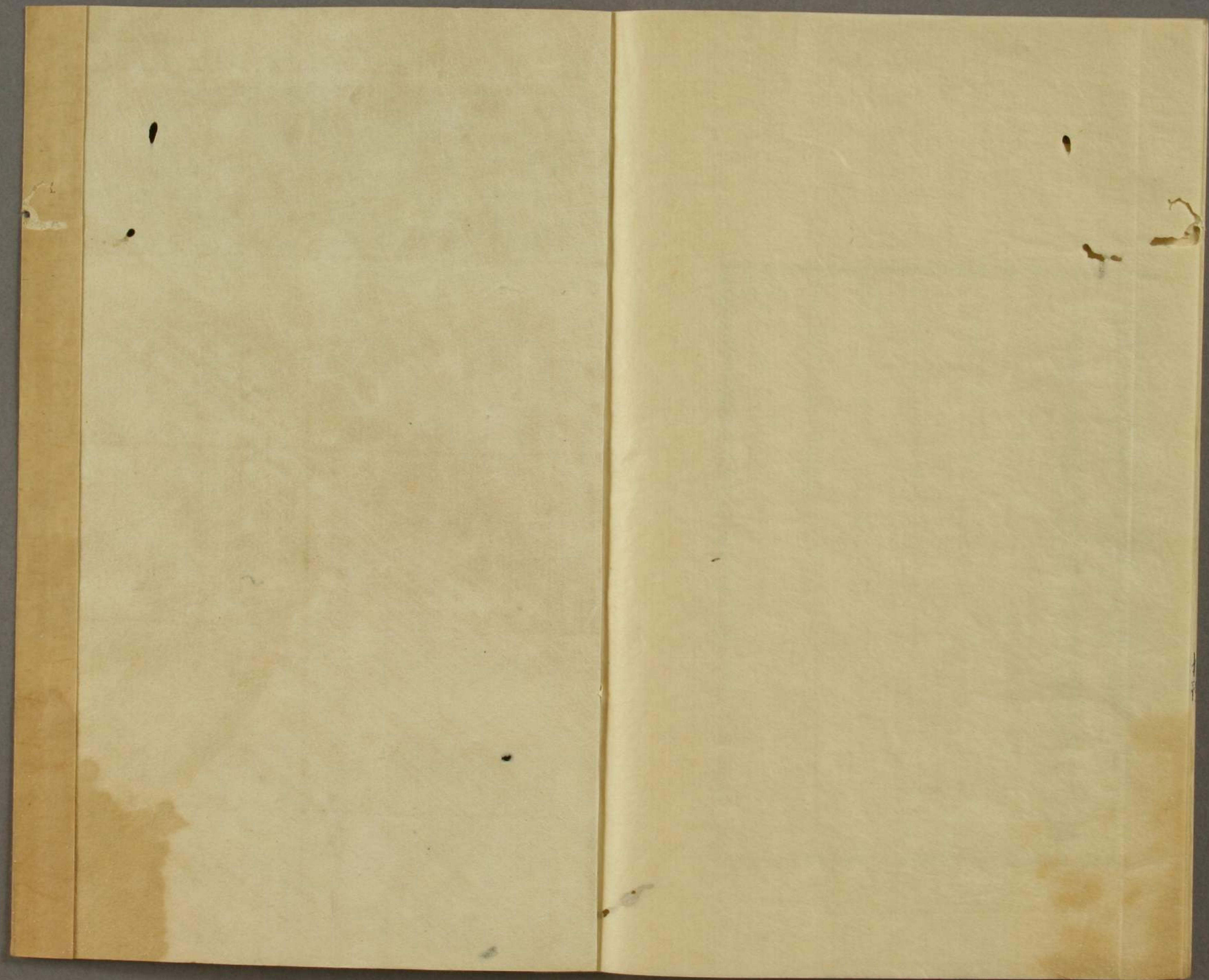
ヲ感スソレ高樓ニ珠簾ヲ揭ケ重幄ニ肉屏ヲ擁ス
ルハ富兒ノ事固ヨリ論ヲ煩ハサス貧人我儕ノ如
キモマタ扁舟ニ浮ヒ蓑笠ニ步シ茶ヲ煮詩ヲ吟シ
テ訪戴驢背ヲ唱ヘ風流脱灑ヲ事トスルコト誰カ得
テコレヲ御カン而トモコレ虚ニシテ實ナシ豈理ヲ
知り性ヲ窮テ後コレヲ賞翫スルニシカンヤ按ス
ルニ雪片六出ノ名ハ中華ニ昉リ韓詩外傳ヲ初ト
件ソノ原始他州ニ先タツモノ圖ハ西洋ニ昉ル致格
多シ六花ノ名マタソノ一ナリ

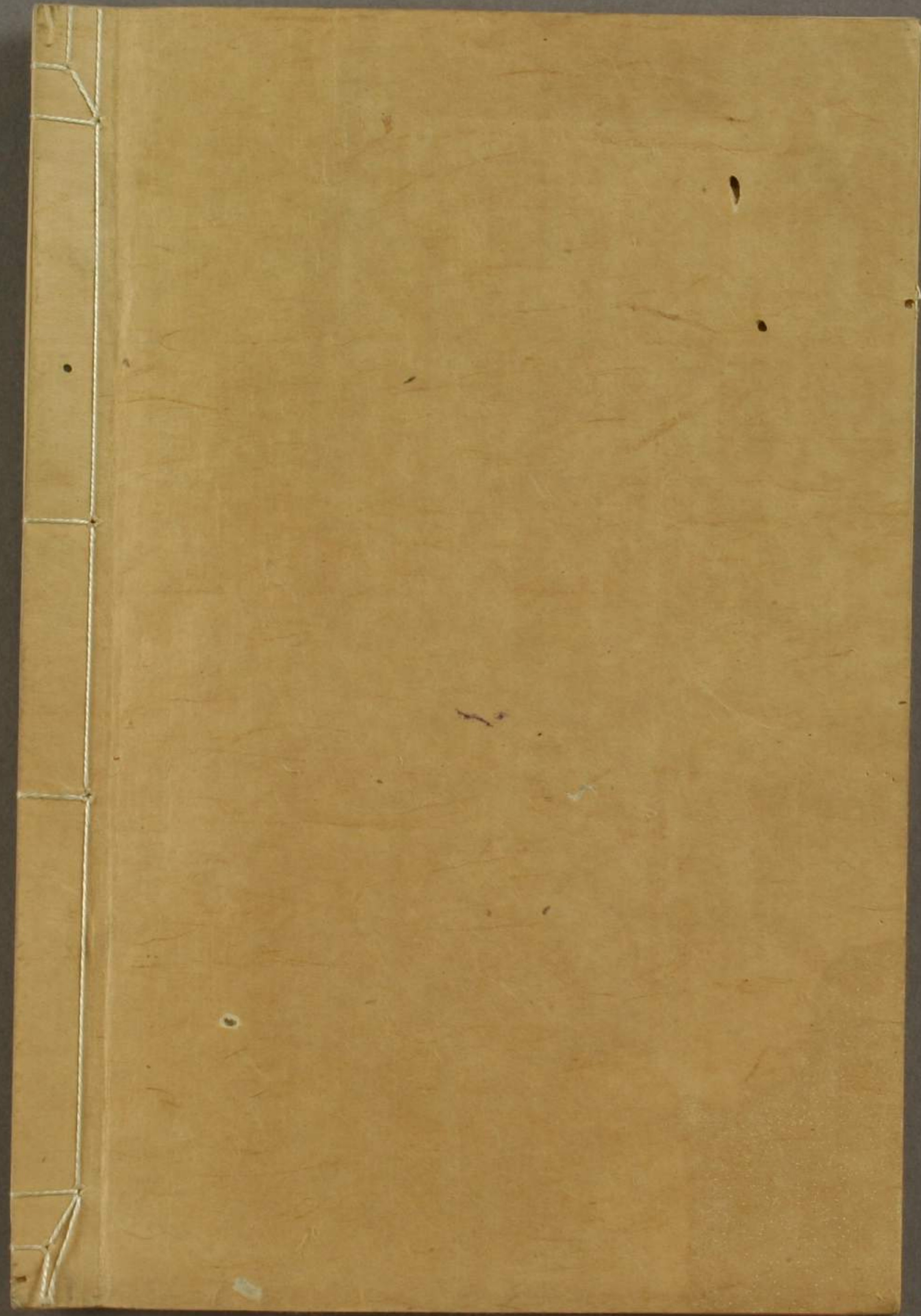
問答ニ
出ツ 我邦ニ在テハイマタ雪花ヲ詳認スルモ
ノヲ聞カス近年知ヲ古河侯ニ辱ス驩晤ノ際益
ヲ得ルコト甚多シ中ニ就テ雪花ノ圖ヲ觀ルコト
ヲ得テ神目ヲ驚カス精妙西畱ニ超ユ古来我邦
イマタ曾テ有サルノコト 侯始テ之ヲ發ス獨
我邦ノミナランヤ其精其詳海外人マタマ甘ニ
三舍ヲ退ントス之ヲ謾然聲色ニ耽ルニ比スレハ
ソノ懸隔如何ソヤ況ヤ 侯富ニ居貴ニ位シ耳目

ノ欲求テ得サルコト無シ。然ルニ意ヲ日新ノ學ニ
留メ致々トシテ倦マス。兀々トシテ年ヲ窮ムルコ
ト。殆ト貧儒寒生ニ侔シ。豈敢服セサルヘケンヤ。
今歲壬辰。侯ノ畝五十五種ニ及ヘリ。之ヲ請フ
者少ナカラサルニ因テ。刻シテ冊子トナシ。余ニ言
ヲ徵スソレ。侯既ニ親自之ヲ驗視シ。又中西ノ說
ヲ參酌シ。東討西求。搜羅殆ト盡キ。精說詳釋。明備
遺スコトナシ。豈余カ言ヲ贅セシヤ。但余侯ノ知

遇ヲウケ。且好學ノ厚ヲ感シ。辞セント欲シテ得ス。
マク敢テ辞セス。聊二律ヲ呈シ。一ハ侯ノ說ニ得
テ。雪ノ功ヲ賞シ。一ハ此盛舉ニ與ルノ喜ヲシルス。
如絮如花集小園。霏霏密密又翻翻。飛空處致空中
潔。積地時成地下温。凝結千秋護嶂頂。解斯萬古養
川源。稻田麥隴足津潤。處處喜聞擊壤喧。
密雪畝成列綺紋。細觀一一駭新聞。珍篇高矣絕雲
鳳。拙語幸哉附驥蚊。石鼎煎茶詠素練。珠簾温酒醉







愛日樓藏

靈芝圖譜